

「考えごとをしていた」 バスの運転手

死亡事故の内、考えごとや脇見などで
前方をよく見ていなかった
「ぼんやり運転」が、約6割に達する

考えごとなどをしながらの、『ながら運転』は危険です

路線バスの運転手 「考えごとをしていた」

信号のない丁字路、右折するところを、直進
街路樹に正面衝突、乗客ら9人けが

2025/4/10(木)

10日昼12時半ごろ、兵庫県の市道の信号のない丁字路で、路線バスが街路樹に衝突し、運転手と乗客の9人がけがを負いました。

いずれも意識はあり、軽傷のもよう。

警察によると、バスには16人が乗車。片側1車線の車道を走行中、丁字路で右折するところを誤って直進し、街路樹に衝突したとみられる。

運転手の男性（55）は「考えごとをしていた」と説明しているという。